

## ご あ い さ つ

北海道高等学校教育研究会

会 長 小 柳 六 郎

はやくも一学期末を迎えました。時節から各校とも多忙を極めておられることと拝察いたします。

さて、会員各位の御理解のもと、去る6月14日、本年度の高教研第1回役員会が開催されました。本年度は大幅な人事異動により、本部役員の補充をはじめ、支部長さん、教科部会長さん方の数多い交替もありました。本年度の活動を開始するに当たり、役員各位の御協力を切にお願い申し上げるとともに、会員及び関係各位には、旧に倍する御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

前年度末の役員会で決定し、既に御案内したとおり、本年度からは、諸般の事情により会費等を若干値上げさせていただきました。そのお陰で「養護部会」を発足させることもできたわけです。十三を数えるに至った各部会が、それぞれの特色を発揮して、いよいよ実効を高めるお膳立ても整いました。とりわけ、新部会における研究と実践の成果が、直接全道の高校生に還元されるよう心から御期待申し上げる次第です。

ところで、本年度の事業計画は当号での御案内のとおりですが、明年1月8日(木)、9日(金)の第24回研究大会はじめ、紀要での研究発表などに日ごろの御研鑽のほどを大いにお示しいただきたいものです。特に、研究調査に関しましては、格別御留意のうえ是非活用されますようお奨めいたします。

ところで、御存知のように臨時教育審議会では、4月23日、第二次答申を公にしました。そのなかで、二十一世紀のための教育の目標として、「1 ひろい心、すこやかな体、ゆたかな創造力 2 自由・自律と公共の精神 3 世界の中の日本人」を挙げています。この古くて新しい命題を俟つまでもなく、否やもなく新世紀に生きる後継者づくりの直接的責務を負わされているのが、教職にある私どもであり、当会の会員たる先生方であるわけです。その意味からも、第24回研究大会はじめ、本年度の各事業を会員おひとりおひとりの手でいっそう実りあるものにしていただきたいと存じます。

会員数6千有余を擁する当高教研が、更に充実発展することを祈念し、併せて会員各位の御健勝、御研鑽を重ねて念じ上げて御挨拶といたします。

おもえば昭和38年5月、札幌南高等学校を会場に、本会が誕生いたしましたから、今年で早くも25年目を迎え、会員も6,200余名を数える大きな研究会に成長いたしました。

当時を憶えば、全く感無量と言えましょう。これもひとえに、各時期の役員の方々ならびに会員の皆様様の御努力と、本会に対しましてのたゆまざる御貢献のたまものと、深く感謝申し上げ、事務局といたしましても、その責任の重大さを一層強く感ずる次第でございます。

さて、過日の第1回役員会で慎重に審議され決定された事でございますが、今年度の動きに久し振りに大きな変化がありました。それは、かねてからの要望でありました養護部会の新設です。時代の要請上、新部会新設の機運は数年前よりきざして居りましたが、今回関係者の御努力に依り誕生を迎えた訳でございます。新部会の御活躍を全会員で心から祝福申し上げたいと存じます。

もうひとつの動きは、ここ数年据え置きにされておりました、会費の若干の値上げの件でございます。会長も「ごあいさつ」で触れておられますが、出来れば諸物価高騰の折りから、なるべく押さえたいのでございますが、前記新部会の新設に伴う関連経費の出費など支出多く、財源安定のためによんどころ無く、会員皆様様の御協力をここにお願い申し上げる次第です。

次に、過日の第1回役員会でできました本年度の事業等につきましてお知らせいたします。

## 〔昭和61年度第1回役員会〕

(日時) 昭和61年6月14日(土) 午後2時30分

(場所) すみれホテル

(札幌市中央区北1条西2丁目 ☎261-5151)

### 1. 経過報告 (60. 4. 2~61. 6. 14)

〈昭和60年〉

- 4. 2 昭和59年度事業実施報告書提出
- 5. 1 昭和60年度会員登録依頼  
地区支部長・教科部会長改選依頼
- 15 地区支部長・教科部会長改選
- 20 昭和60年度事業計画書提出
- 6. 4 本部事務局会議(第1回役員会議案書審議)
- 8 第1回役員会(エイトホール)
- 22 会員登録締切、テーマ・会場決定
- 29 役員名簿提出
- 7. 1 会員名簿整理・集計
- 10 会報43号発行

- 8. 1 第2回役員会・教科部会事務担当者会議案内
- 9. 4 本部事務局会議
- 7 第2回役員会・教科部会事務担当者会議(エイトホール)
- 10. 14 講師派遣依頼状・委嘱状発送  
大会要項原稿締切
- 16 「第23回研究大会要項」編集開始  
参加申込書・参加証印刷発注
- 11. 5 後援依頼状(道教委・市教委・校長協会)発送  
道教委公報掲載依頼状・後援名義使用承認願発送  
文部省講師派遣依頼状発送
- 9 「大会要項」・「参加申込書」発送  
運営協議会案内状発送
- 25 大会参加申込受付、研究紀要原稿締切  
研究紀要第23号編集開始
- 27 本部事務局会議(運営協議会議案書審議)
- 30 第23回研究大会運営協議会(エイトホール)
- 12. 5 研究大会資料編集開始  
研究大会各種資料作成、研究大会祝辞依頼状発送、研究大会役員委嘱状・同派遣依頼状発送、研究大会助言者委嘱状・同派遣依頼状発送  
(道教委・市教委・道研・理科センター)  
来賓・報道関係者案内状発送
- 12. 9 大会運営最終点検(厚生年金会館と打ち合わせ)
- 10 研究大会資料編集完了、印刷発送
- 14 第23回研究大会参加申込締切
- 19 本部事務局会議  
参加者集計、参加者名簿整理、同名簿印刷発注、大会資料一校
- 25 大会資料最終校正、参加者名簿一校
- 29 大会資料発送(全体集会・教科部会の各講師)
- 〈昭和61年〉
- 1. 6 本部事務局会議(諸準備・会場との打ち合わせ)
- 8 本部事務局会議(総点検)  
講師・司会者・事務局打ち合わせ(厚生年金会館)
- 9 第23回北海道高等学校教育研究大会全体集会
- 10 第23回北海道高等学校教育研究大会教科別集会
- 11 関係方面に礼状発送

- 25 第3回役員会案内状発送
2. 12 本部事務局会議（第3回役員会議案書審議）
- 15 第3回役員会（エイトホール）
4. 10 昭和60年度事業実施報告書提出
5. 7 昭和61年度会員登録依頼  
地区支部長・教科部会長補充依頼
- 20 昭和61年度事業計画書提出
6. 9 本部事務局会議（第1回役員会議案書審議）
- 14 第1回役員会（すみれホテル）
2. 昭和60年度事業実施報告
- (イ) 「会報」第43号発行（7月10日）
- (ロ) 第23回北海道高等学校教育研究大会  
第1日目 全体集会（61. 1. 9）  
北海道厚生年金会館  
第2日目 教科別集会（61. 1. 10）  
札幌市民会館他
- (ハ) 「研究紀要」第23号発行  
〈規 格〉 タイプオフセット B 5 版  
156ページ  
〈発刊日〉 昭和61年3月19日  
〈掲載論文〉 13編  
国語1 社会2 理科1 芸術1  
英語2 家庭2 工業1 商業1  
水産1  
教職一般1
- (ニ) 「会報」第44号発行（61年3月10日）  
（内容一第23回研究大会成果報告）

3. 昭和60年度収支決算報告
4. 昭和60年度会計監査報告
5. 昭和61年度事業計画
- (イ) 第24回 北海道高等学校教育研究大会

**A 全体集会**

- ・期 日一昭和62年1月8日（木）
- ・会 場一北海道厚生年金会館大ホール
- ・日 程

9:00	10:00	10:30	12:30	13:30	15:30
受付	開会式	講演 (午前の部)	昼食 (休憩)	講演 (午後の部)	

- ・運 営一本部担当
- ・〔講演〕  
〔講師〕 一午後の部（未 定）  
          午後の部（未 定）
- ・司会者一午前の部（胆振支部・日高支部）  
          午後の部（石狩支部・渡島支部）

**B 教科別集会**

- ・期 日一昭和62年1月9日（金）
- ・会 場

国 語 部 会	（北海道経済センター）
社 会 部 会	（札幌東陵高校）
数 学 部 会	（代々木ゼミナール札幌校）
理 科 部 会	（札幌開成高校）
保 体 部 会	（札幌旭丘高校）
養 護 部 会	（大同生命ビル）
芸 術 部 会	（札幌市民会館）
英 語 部 会	（北海道大学教養部）
家 庭 部 会	（札幌市民会館）
農 業 部 会	（札幌市民会館）
工 業 部 会	（札幌市教育文化会館）
商 業 部 会	（札幌啓北商業高校）
水 産 部 会	（小樽水産高校）

日程

	9:00	12:00	13:00	15:00	15:30
受 付	講演又は 研究討議	昼 食 (休憩)	講演又は 研究討議	部会 総会	

- ・運 営一各教科部会事務担当者

**C 研究テーマ**

- ・全 体

**「高等学校教育と学習指導の現代化を推進する」**

- ・部 会

国 語	「自己学習力を育てる国語教育」一意欲の向上を図りつつ確かな理解力と表現力を伸ばす指導法を探求する一
社 会	「社会科各科目における指導・学習過程の総合的研究について」
数 学	「学習意欲を高めるための数学の指導・実践について」
理 科	「これからの理科教育はどうあるべきか」
保 体	「保健体育指導上の諸問題とその研究（指導法・体力づくり・保健・その他）」
養 護	「生徒指導と養護教諭のかかわり」
芸 術	「これからの芸術教育」
英 語	「生徒が意欲的に取り組む英語の授業の工夫・改善を求めて」
家 庭	「これからの家庭科教育を考える」 一私の考える家庭科教育一

農 業	「時代の進展に対応する農業教育はいかにあるべきか」
工 業	「時代に即応する工業教育のあり方」
商 業	「今後における商業教育のあり方について」
水 産	「これからの水産教育をどう進めるべきか」

## D 講 演

### ・会体集会

原則として中央からは1名、道内から1名の2名依頼。その内訳としては、人文科学部門1名、自然科学部門1名とする。

なお、希望講師（および希望演題）があれば地区支部、教科部会経由か直接本部事務局へ申し出られたい。

### ・教科別集会

各教科部会で決定されたい（なお、委嘱状・依頼状は本部事務局で）。

## E 大会参加料

（次の参加料を徴収する）

会 員 —— 1,700円

非会員 —— 3,000円

※受付方法・参加証の配付方法については、第2回役員会（9月6日）の議案書に掲載いたします。

### (ロ) 研究紀要第24号発行

規 格 —— B 5 版約200ページ

発 刊 日 —— 昭和62年3月10日

原稿締切日 —— 昭和61年11月25日（火）

〈締切日厳守〉

（原稿内訳）

- ▶教科は、1教科につき400字詰原稿用紙（本部規定）70枚以内、原稿の集約・審査等は各教科で行って下さい。
- ▶教職一般は、1編につき400字詰原稿用紙（本部規定）30枚以内、原稿の集約・審査等は地区支部長で行って下さい。
- ▶特定校に集中しないようご配慮下さい。
- ▶紀要抜刷50部は執筆者にお渡しします。なお、50部以上希望の方は、各個人で印刷業者と直接連絡をとってお申し込み下さい。
- ▶紀要論文募集要項は、会報第45号（7月10日発行）に掲載し全会員にお知らせします。
- ▶研究紀要の発表者が決まり次第、本部事務局（編集部長沢田正巳あて）にお知らせ下さい。本部事務局より地区支部および教科部会を通じて、

原稿用紙をお送りいたします。

- ▶原稿は必ず支部、部会を経由し、本部へ直送されることのないようお願いします。

〈原稿の書き方についてのおお願い〉

- ▶原稿用紙1枚目の1行目には「題目」を、2行目には「勤務先・執筆者氏名」を記入して下さい。たて書き原稿の場合もこれに準じます。
- ▶文中にゴシックを要するところは——（朱記）イタリックを要する場合は~~~~（朱記のように線を引いて下さい）。
- ▶図は、白紙に、墨または黒インクで鮮明に書き、直接トッ版がとれるようにして下さい。
- ▶原稿は原則として、お返しいたしません。
- ▶図、写真の入るところは原稿にはっきり指定して下さい。
- ▶なお、図・写真は別紙とし、余白の番号と氏名を明記して下さい。写真が多くなるときは、予算の関係上、本部事務局編集担当（沢田）にご連絡下さい。

(イ) 会報第45号発行（7月10日）

〈内容〉

- ・第24回研究大会全体研究テーマ
- ・第24回教科別部会テーマ
- ・研究紀要第24号応募要領
- ・研究調査（研究紀要掲載）応募要領
- ・役員名簿一覧（地区支部長・教科部会長・各事務担当者）
- ・事務局一覧（本部事務局・地区支部・教科部会）
- ・昭和61年度事業計画、予算

(ニ) 会報第46号発行（昭和62年3月10日予定）

〈内容〉

- ・第24回研究大会成果報告
- ・地区支部・教科部会活動状況

(ホ) 研究調査（昭和61年度の申込受付について）

〈申込方法〉

- ▶本年度採用予定は3～4編で、申込みは、教科関係については、各教科部会、教職関係については各地区支部で取りまとめ、それぞれの部会長、支部長を経由して本部事務局へ9月6日（土）までに連絡してください（連絡先：編集部長 沢田正巳）。

〈調査の費用、期間〉

- ▶費用は、1年で完結するものには40,000円、2年継続のものには各年度20,000円の調査費が配当されます。期間は、1年で完結、2年継続の2種です。

〈研究紀要発表他〉

▶研究調査の報告は、研究紀要に掲載しますので、内容を400字詰原稿用紙(本部規程)20枚程度に要約し教科部会長または地区支部長を経て、11月25日(火)までに本部事務局(沢田あて)に提出してください。

▶応募要領は、「会報」第45号で全会員にお知らせします。

6. 昭和61年度予算案

7. 昭和61年度会員登録及び名簿作成について

(イ) 各学校から名簿は2部、地区支部校に送付されているはずですが、うち1部は地区支部校で保管、残り1部と登録料を本部事務局に送付してください。

(ロ) 地区支部事務局では、地区支部内の教科ごとの名簿を2部作成し、本部事務局あてお送りください(本部で分類し、1部は教科部会に、1部は本部事務局保管)。

※ したがって、地区支部事務局より、本部事務局あて送付願う書類その他については、次

のとおりになります。

- ① 学校ごとの会員名簿 1部
- ② 教科部会ごとの名簿 2部
- ③ 地区支部会員集計表 1部
- ④ 登録料(会費)

〈振込先〉北海道銀行旭ヶ丘支店

口座番号004544

または郵便振替

小樽 7-2737

◎なお、追加登録の場合は上記1、2と同様にして、本部事務局にお知らせください。

8. 昭和61年度行事予定

(別紙参照)

9. 昭和61年度役員補充

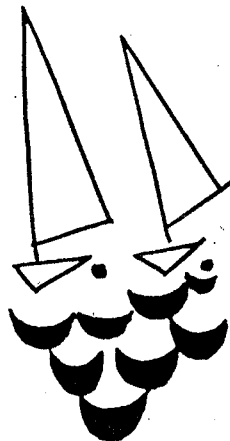
(別紙参照)

10. 昭和61年度地区支部、教科部会、本部事務局

の構成

(別紙参照)

11. その他



〈昭和60年度〉 会 員 加 入 状 況

教 科 支 部	国 語	社 会	数 学	理 科	保 体	芸 術	英 語	家 庭	農 業	工 業	商 業	水 産	合 計
石 狩	274	262	266	301	209	103	316	61	10	57	65	0	1,924
渡 島	52	55	52	55	46	8	44	9	7	23	29	37	417
桧 山	16	18	11	14	12	4	11	7	5	4	8	0	110
後 志	22	41	25	39	29	9	19	13	24	14	33	30	298
南空知	27	39	31	48	29	11	28	21	22	18	21	0	295
北空知	42	42	30	38	29	12	27	8	18	37	55	0	338
上 川	78	88	69	70	76	27	75	17	43	55	50	0	648
留 萌	20	22	19	16	20	5	19	5	9	5	11	1	152
宗 谷	14	20	13	18	11	3	13	4	6	2	12	0	116
網 走	54	61	54	62	44	16	49	16	13	16	33	0	418
根 室	15	16	15	11	14	8	14	5	14	0	8	0	120
釧 路	50	49	38	51	47	12	51	8	9	8	13	16	352
十 勝	55	68	52	47	39	18	52	11	30	7	21	0	400
胆 振	59	74	54	72	52	17	77	21	7	43	34	0	510
日 高	15	25	11	18	15	4	18	5	10	3	9	0	133
合 計	793	880	740	860	672	257	813	211	227	292	402	84	6,231

〔備 考〕

年 度	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
中 間	6,123	6,221	6,519	6,374	6,410	6,293	6,232	6,220	6,235	6,226
年 度 末	6,201	6,272	6,549	6,411	6,450	6,317	6,255	6,246	6,245	6,231

# 〈昭和61年度〉 年間行事予定表

北海道高等学校教育研究会

月	日	曜	本 部	備 考	地 区 支 部	教 科 部 会
4	10	木	昭和60年度事業実施報告書提出			
5	7	水	昭和61年度会員加入登録依頼 地区支部長・教科部会長役員補充依頼			
	20	月	昭和61年度事業実施計画書提出			
6	9	月	本部事務局会議	第1回役員会議案書審議		
	14	土	第1回役員会(すみれホテル14:30)		第1回役員会	第1回役員会
	23	土	会員登録締切 ※部会テーマ・会場		会員登録締切	テーマ・会場決定
	30	月			役員名簿提出締切	役員名簿提出締切
7	5	土	会員名簿の整理と集計		会員名簿提出締切	
	10	水	会報45号発行	内容：全体・部会研究テーマ、研究紀要 研究調査・役員名簿・事務局一覧		
9	3	水	本部事務局会議	第2回役員会・教科部会事務担当者会議 議案書審議		
	6	土	第2回役員会(すみれホテル14:30)	内容：事業計画・実行予算・会員加入 全体集会・教科別集会(第24回 研究大会運営・日程・会場他)	第2回役員会 事業計画書提出	第2回役員会・事務担当者 会議 事業計画書提出
11	25	火	第24回研究大会参加申込受付		研究紀要論文原稿締切	研究紀要論文原稿締切
	26	水	本部事務局会議	第24回研究大会運営会議議案書審議		
	29	土	第24回研究大会運営会議 (すみれホテル14:30)		第24回研究大会運営会議 (事務担当者のみ出席)	第24回研究大会運営会議 (事務担当者のみ出席) 部会(係・役員)依頼状・ 委嘱状発送
12	13	土	第24回研究大会参加申込締切			
1	8	木	第24回研究大会全体集会(北海道厚生年金会館大ホール)		第24回研究大会	第24回研究大会
	9	金	第24回研究大会教科別集会(札幌市民会館他)			第24回研究大会教科別集会
	10	土	関係方面に研究大会礼状発送			
2	12	水	本部事務局会議	第3回役員会議案書審議		
	14	土	第3回役員会(すみれホテル14:30)		第3回役員会	第3回役員会
3	10	火	研究紀要第24号・会報第46号発行	内容：第24回研究大会報告		

[昭和61年度高教研 {地区支部 教科部会} 事務局所在地・事務担当者一覧]

<地区支部>

支部名	事務局校名	所在地	電話番号	郵便番号	支部長名	事務局担当者名
石狩	札幌東豊	札幌市東区東雁来町376-1	(011) 791-4171	065	川崎 威	鴨野 昌次
渡島	函館稜北	函館市石川町181番地 8	(0138) 46-6235	041	深尾 彰	渡辺 文則
桧山	熊石	爾志郡熊石町字鮎川103番地の4	(01398) 2-3382	043-04	住山 明	中島 和彦
後志	喜茂別	虻田郡喜茂別町字喜茂別258-1	(0136) 33-3433	044-02	竹田 良一	實吉 正司
南空知	美唄南	美唄市西1条南8丁目	(01266) 4-2275	072	丸山 惠敬	加藤 正司
北空知	砂川北	砂川市焼山95番地	(01255) 2-4161	073-01	富永 定継	森 利三
上川	旭川工業	旭川市西神楽3線5号	(0166) 65-4115	078-11	久住 盛	村井 猛
留萌	苫前商業	苫前郡苫前町字古丹別273	(01646) 5-3441	078-36	松田 靖夫	大島 巖
宗谷	豊富	天塩郡豊富町字上サロベツ475	(0162) 82-1709	098-41	伊藤 詰男	能登 将
網走	北見柏陽	北見市柏陽町567番地	(0157) 24-5107	090	原田 由正	畠山 康正
根室	羅白	目梨郡羅白町礼文町9番地の3	(01538) 7-2481	086-18	村上 義夫	坂本 昭一
釧路	釧路東	釧路郡釧路町富原3番地1	(0154) 36-2852	088-06	大沢 昭夫	山崎 徹
十勝	音更	河東郡音更町駒場西1番地	(0155) 44-2202	080-05	中島 竜雄	平鍋 憲一
胆振	室蘭東	室蘭市高砂町4丁目35-1	(0143) 44-4783	050	青地 巧	丸山 寛
日高	様似	様似郡様似町大通1丁目25番地	(01463) 6-2407	058	磯部 誠一	吉口 新一

<教科部会>

教科名	事務局校名	所在地	電話番号	郵便番号	部会長名	事務局担当者名
国語	大麻	江別市大麻147番地	(011) 387-1661	069	上田 三三生	若林 正
社会	札幌東陵	札幌市東区東苗穂町887	(011) 791-5055	065	○小林 純幸 (札幌南)	古木 博
数学	札幌東	札幌市白石区菊水9条3丁目	(011) 811-1919	003	○小原 孝男 (札幌厚別)	皆川 一雄
理科	札幌西陵	札幌市西区手稲平和59-2	(011) 663-7121	063	沼田 一夫	石山 直人
保体	恵庭南	恵庭市白樺町48番地	(0123) 32-2391	061-14	○林 司 (札幌啓成)	久保 公男
養護	札幌南	札幌市中央区南18条西6丁目	(011) 521-2311	064	○阿部 重雄 (札幌手稲)	浅黄谷 登志
芸術	札幌開成	札幌市東区北22条東21丁目1-1	(011) 781-8171	065	○浪花 正雄 (札幌秩父別)	滝沢 光郎
英語	札幌東	札幌市白石区菊水9条3丁目	(011) 811-1919	003	河西 久男	宮地 良一
家庭	札幌開成	札幌市東区北22条東21丁目1-1	(011) 781-8171	065	鈴木 昭平	齋 郁子
農業	倶知安農	虻田郡倶知安町字旭15番地	(0136) 22-1148	044	関 廣司	小原 静雄
工業	札幌琴工	札幌市西区発寒13条11丁目	(011) 661-3251	063	北村 昭	武部 良平
商業	札幌北商	札幌市南区石山1条2丁目15-1	(011) 591-2021	005	吉田 弘一	肥田 進
水産	小樽水産	小樽市若竹町9-1	(0134) 25-0063	047	間山 郁三	工藤 豊

○印は部会長と事務担当者の異なる教科



〈昭和61年度〉 北海道高等学校教育研究会

本部役員名簿

(会長) 小柳六郎 (札幌旭丘)  
(副会長) 北村昭 (札幌琴工)  
( ) 佐藤健一 (札幌白石)  
( ) 宮森公夫 (札幌清田)  
(監事) 村上元治 (札幌新川) 藤田昌一 (札幌東商)  
(顧問) 梶浦善次 (道女短) 磯貝芳司 (道女短)  
尾崎信夫 (道育成協)

地区支部長

(石狩) 川崎 威 (札幌東豊)  
(渡島) 深尾 彰 (函館稜北)  
(檜山) 住山 明 (熊石)  
(後志) 竹田 良一 (喜茂別)  
(南空知) 丸山 恵敬 (美唄南)  
(北空知) 富永 定継 (砂川北)  
(上川) 久住 盛 (旭工)  
(留萌) 松田 靖夫 (苫前商)  
(宗谷) 伊藤 詰男 (豊富)  
(網走) 原田 由正 (北柏陽)  
(根室) 村上 義夫 (羅白)  
(釧路) 大沢 昭夫 (釧東)  
(十勝) 中島 竜雄 (音更)  
(胆振) 青地 巧 (室東)  
(日高) 磯部 誠一 (様似)

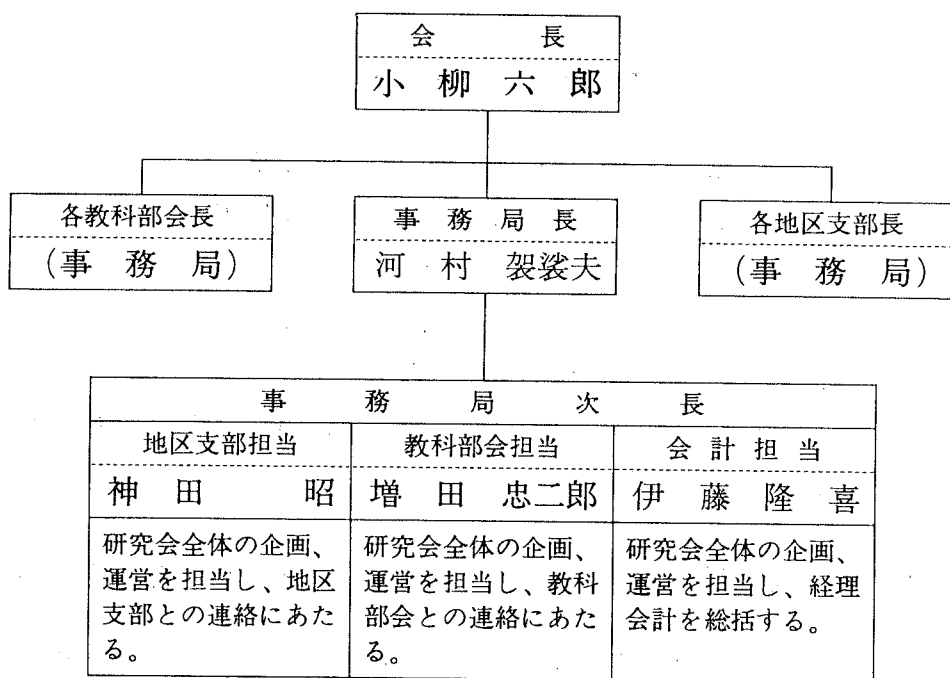
教科部会長

(国語) 上田 三三生 (大麻)  
(社会) 小林 純幸 (札幌南)  
(数学) 小原 孝男 (厚別)  
(理科) 沼田 一夫 (札幌西陵)  
(保体) 林 司 (札幌啓成)  
(養護) 阿部 重雄 (手稲)  
(芸術) 浪花 正雄 (秩父別)  
(英語) 河西 久男 (札幌東)  
(家庭) 鈴木 昭平 (札幌開成)  
(農業) 関 廣司 (倶知農)  
(工業) 北村 昭 (札幌琴工)  
(商業) 吉田 弘一 (札幌啓商)  
(水産) 間山 郁三 (小樽水)

本部事務局

河村 袈裟夫 (事務局長) 沢田 正巳 (編集部長)  
神田 昭 (事務局次長) 高橋 勝昭 (組織部長)  
増田 忠二郎 ( ) 鈴木 徹 (庶務部長)  
伊藤 隆喜 ( ) 柴田 雅美 (運営一部長)  
松田 五郎 (運営二部長)

〈昭和61年度〉 — 北海道高等学校教育研究会 — 〈本部事務局組織〉



区分	庶務部	運営一部	運営二部	編集部	組織部	会計部
部長	鈴木 徹	柴田 雅美	松田 五郎	沢田 正巳	高橋 勝昭	伊藤 隆喜
担 当	小川 清廣	小池 勲	鈴木 健吉	高田 祐幸	石沢 健太郎	鎌田 圈二
	池田 実	中野 繁男	森田 太郎	近藤 正博	菊池 義子	斉藤 良和
	黒宮 輝夫	島 隆	岩田 享子	中垣 正史	斎藤 幸子	高木 百合子
	武田 圭司	矢島 仁	南雲 信二	上西 助	沼館 慎一	
	芳賀 秀樹	石井 直衛	徳田 裕	成沢 正義	松本 英夫	
	近藤 暢男	石黒 清裕	西田 裕	平山 斌一	尾崎 正則	
業 務	石塚 博規	松尾 英樹	武田 恵	喜多 清彦	松浦 文生	
		野上 光子	須藤 喜久男	荒木 修	阿部 益太郎	
				相沢 寿一	佐藤 昌弘	
	1. 諸文書作成、 発送 2. 諸文書記録、 整理・保管 3. 諸資料の整理 ・保管	1. 諸会議の準備 運営 2. 教科部会・地 区支部との連 絡を強化し、 研究を促進す る。	1. 研究大会の準 備・運営 2. 研究調査の受 付・整理	1. 研究紀要の受 付・整理 2. 会報・紀要の 整理・保管 3. その他の出版 物の編集・整 理	1. 会員登録名簿 の作成・整理 2. 会員数集計	1. 予算書の作成 2. 金銭出納 3. 物品購入・借 入の業務

### 〈編 集 後 記〉

・会員の皆様お待ち兼ねの、「会報」第45号をお届けいたします。今年度は年度当初から、早々と熱心な会員の方々から、「研究紀要」「研究調査」の件でのお問い合わせが多く、編集部一同その熱心さにびっくりさせられました。

・特に「研究調査」に関するものが多く、編集部のみならず、中には会長にまで直接お聞きになった方があったとかで、その「調査」に対する過熱ぶりは、二度びっくりと言うところですよ。

・ここ数年どういう訳か「調査」の方が不活発で、事務局としましても心配して居りましたが、今年度は、例年に無い会員の皆様の積極性に大変喜んで居ります。

・所で会費の値上げのおかげで、「調査」の費用が今回から1人当たり40,000円になり、ちょっぴり費用負担が軽くなりましたことも、ご報告申し上げます。

・尚、「研究紀要」の方は、皆様ご存知の如く、例年通り50部の抜刷を原稿料がわりにおあげしております。

・とにかく、6,200余名の大研究会であり、日本でも最大の研究会の一つである本会の「紀要」に論文を掲載する事は、そのまま全国に通用すると同時に、全国的な評価を得ることともなりましょう。執筆者の研究にも一段の張りが出るものと存じます。会員の皆様方奮ってご応募下さい。先生方の立派な原稿を編集者一同心からお待ち申して居ります。

(編集部一沢田)